

分野コード：261

投稿区分：原著

論文和文タイトル：

5 日本放射線技術学会論文書式テンプレートについて

English Title：

Article Format of Japanese Society of Radiological Technology

10

15 注 1) 査読はダブルブラインドで行います。著者名や勤務先名称は論文ファイルに書き込まないでください。本文中で勤務先名称がわかるような表現は避けてください。（例：△△病院→当院）

20 注 2) 行番号の入れ方：メニューバーから「ファイル」→「ページ設定」→「その他」→「行番号」→「行番号を追加する」にチェックしてください。

英文 Summary

Key words

25

和文要旨

30

## 緒 言

ここでは、研究の背景と今までの研究との関連、目的などを明快に述べる  
こと。

- (1) テーマの背景と研究の意図、(2) 関連した論文との相違、(3) それ  
5 と本研究との関連など、論文を理解してもらいうえでの概要を記述すること。

## 1. 方 法

### 1-1 方法の 1 番目

- ここでは，研究に用いた機器・材料や実験方法について，読者が追試できるように具体的に記載すること．すでに広く用いられている材料，方法，あるいはそれが他の文献に詳しく記述されている場合には，「・・・の方法」とし，具体的な用具・材料の名称を記すだけでもよく，文献を示しておくこと．

### 1-2 方法の 2 番目

- 10 機材などの会社名は，正式名称を用いる（株式会社〇〇製・・・，〇〇株式会社製・・・など）

### 1-3 方法の 3 番目

倫理や個人情報の保護，視覚評価にあたっては，観察者の同意を得ること

15

## 2. 結 果

### 2-1 結果の 1

ここでは，結論を導き出すためのデータを，自分の主観を入れずに書くこと（Fig. 1）.

5

### 2-2 結果の 2

実験結果の羅列ではなく，図表を用いて分かりやすくまとめること．そこから読み取れる事実を簡潔に記述すること（Table 1）.

10

### 3. 考 察

ここでは、(1) 研究で得た結果から、新しい知見の整理と解明、すなわち結果の分析を行うこと。また、(2) これまでに知られている結果との関係付け、あるいは他の研究との相違点に比較検討を加えること。(3) これからか

5

ら導き出した法則性や論理的な推論を加えること。

#### 4. 結 語

ここでは，結果に考察を加えた結論を手短に記述すること．したがって，研究から得られた具体的な真理の記述が中心となる．得られた結果以上のことは書かないこと．

## 謝 辞

<ここに謝辞が入る>

謝意や学会での発表については、投稿システム上のフォームに入力し、論文ファイル上には記載はしないこと。謝辞を入れる場合には、「ここに謝辞が入る」と記しておくこと。

## 10 参考文献

1) ○○, ○○, ○○, 他. △△△論文タイトル△△△. 日放技学誌 2011; 67(10): \*\*\*-\*\*\*.

2) Aaaa BC, Bbbb CD, Cccc EF, et al. \*\*\*\*Article Title\*\*\*\*. J Nucl Med 2004; 45(9): \*\*\*-\*\*\*.

15

## 図表の説明

Fig. 1 論文フォーマット例

20

Table 1 投稿論文の推移

Fig. 1 Example of article format.

25

Table 1 Transition of the numbers of submission